

平成27年度 事業再評価対象外事業一覧表

番号	事業名	所管局	事業費 (億)	事業 開始 年度	前回 (H22) 対応 方針	a	b	c	備考 (a~cの補足等)
						事業進捗率	事業内容の見直し 等に伴う事業費の 増減の有無 (増減 額)	完了年度 延長の有無 (変更年度)	事業費の増減、 完了年度の延長理由
1	[街路] 淀川北岸線 (木川) 電線共同溝整備事業	建設局	6.4	H13	継続A	前回評価時(H22) 57.3% H26年度見直し前 57.4% H26年度見直し後 98.7%	有 11億円⇒6.4億円 ※整備延長見直し (H26年度) 1,430m⇒750m	有 H26⇒H29	・事業費の精査 ・厳しい財政状況の下、本事業の予算確保が困難なことから、既整備区間の事業効果の発現もさらに遅れることとなるため、関連部署や電線共同溝に参画する企業体と既整備区間の事業効果発現を優先することで調整し、そのための整備工事を行うことで事業収束を図った。事業を見直した区間については、他事業で実施していく予定である。

事業再評価対象外とした事業の今後の取組方針等

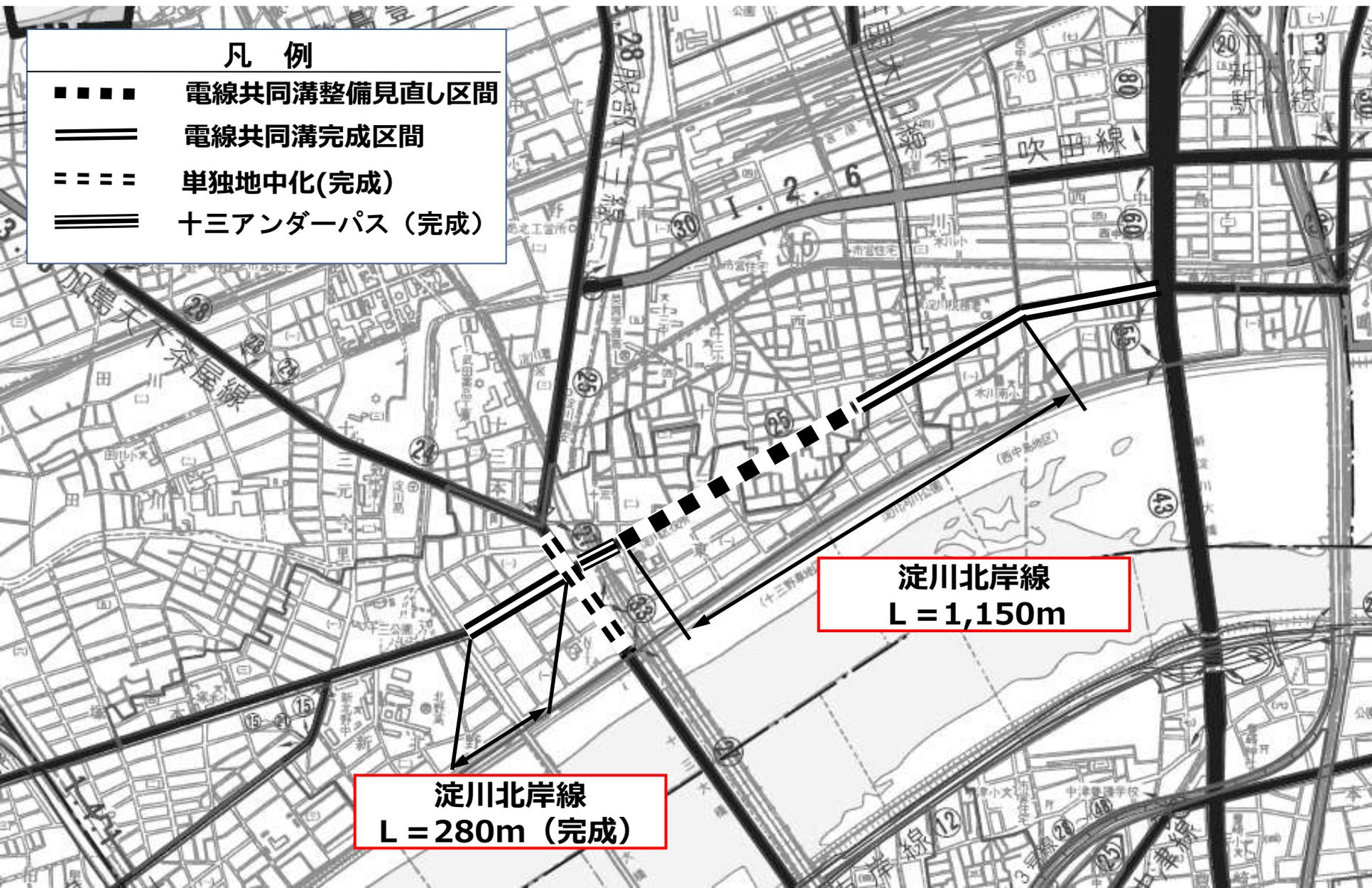
番号	事業種別 事業名	事業内容	事業の概況	今後の取組方針
1	街路[建設局] 淀川北岸線(木川) 電線共同溝整備事業	<p>[規模] 延長 L=750m (管路整備延長 L=1,500m)</p> <p>[目的] 本事業は、地域防災計画における、緊急交通路、避難路に位置づけられている本路線の既存架空線を地中化することで、安全で快適な歩行者空間の確保、都市景観及び防災性の向上、情報通信網等のライフラインの安全性・信頼性の向上を図る。</p>	<p>事業開始 H13 事業完了 H29[H26] 総事業費 6.4[11]億円 既投資額 6.3[6.3]億円</p> <p>進捗率 事業費ベース 98[57]%</p>	<p>【事業の進捗状況】 本事業については、関連部署や電線共同溝に参画する企業体との協議により、整備内容を見直したことから事業進捗率が90%以上となっている。</p> <p>【今後の取組方針】 既整備区間の事業効果を発現させるために必要な予算の確保に努め、平成29年度での事業完了を見込んでいる。</p>

図1 位置図

(2事業概要①所在地)

淀川区新北1丁目～淀川区十三本町1丁目、淀川区十三本町1丁目～淀川区木川東2丁目

- 凡例**
- 電線共同溝整備見直し区間
 - ==== 電線共同溝完成区間
 - ==== 単独地中化(完成)
 - ==== 十三アンダーパス(完成)



淀川北岸線
L = 280m (完成)

淀川北岸線
L = 1,150m

図2 進捗状況

(4 事業の実現見通しの視点 ③事業規模)

残事業の内容

●残事業費 約0.1億円

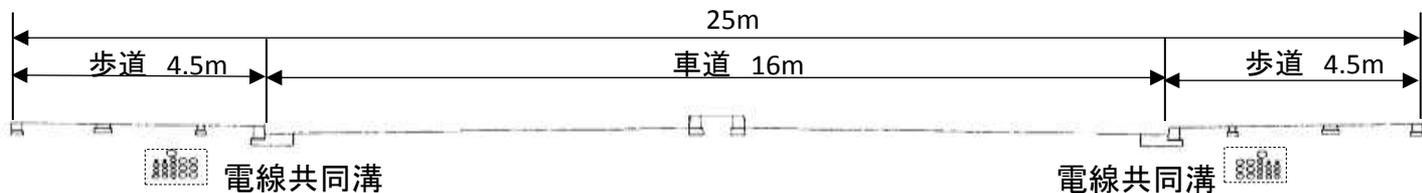


平面図



平面図

整備済み 工事進捗率:99.2%(事業費ベース)



事業の見直し経過

【状況】

- 平成13年度 事業着手
- 平成17年度 区間の東側及び西側の整備完了
(事業効果発現(無電柱化による防災機能の向上等)には残区間の整備が必要)
- 平成18～22年度 財政状況の悪化により、より一層の事業の選択と集中が必要とされたため、本事業の整備を見合わせた
- 平成23年度～ 事業完了をめざすものの、さらなる財政状況の悪化により、電線共同溝整備への予算配分が困難な状況となった

【課題】

- 事業の進捗が図れない
- 整備完了区間の事業効果を発現させないまま相当の時間が経過

【対応】

- 平成25年度 計画を見直すため、参画企業体との調整を開始
- 平成26年度 整備完了区間の事業効果の発現をもって事業を収束し、それに必要な整備工事を平成29年度までに完了することで参画企業体と合意した。また、見直し区間は、他事業で実施していく予定である。